

クラシック・ヨコハマ2018大学連携コンサート

# 慶應義塾大学 コレギウム・ムジクム・ オーケストラ演奏会

1805年1月

ベートーヴェンの《英雄》 vs エーベルルの作品33

中山美紀 (ソプラノ)

慶應義塾大学コレギウム・ムジクム・オーケストラ (指揮: 石井 明)



ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791)

アリア〈誰がわかるでしょう、愛しい人の苦しみを〉K. 582 & 〈喜びの高鳴りを〉K. 579

アントン・エーベルル (1765-1807) 交響曲変ホ長調作品33

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827) 交響曲第3番変ホ長調作品55《英雄》

1805年1月にベートーヴェンの《英雄》とエーベルルの作品33は、同じ演奏会シリーズにおいてほぼ同時期に披露されました。そしてこれらの演奏会で2作品を聴いた聴衆による批評も残されています。同一の調で書かれたベートーヴェンとエーベルルの交響曲は、一方は音楽の歴史の中で不滅の名曲と謳われるようになりますが、他方は忘れられた存在となり、今日では、作曲者の名前すらほとんど聞かれなくなってしまいました。しかしながら、1805年当時の評価は、《英雄》には批判的で低かったのに対して、エーベルルの作品33には好意的で高いものでした。初演から200年の歳月を経た今日、2つの交響曲を並べること、これらの作品の再評価を試みるというのはいかがでしょうか。

2019年 1月16日(水) | 18時30分開演 (18時開場)  
入場無料 事前申し込み不要

藤原洋記念ホール

(慶應義塾大学日吉キャンパス協生館内)

アクセス: 東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅徒歩1分

【主催】慶應義塾大学教養研究センター / クラシック・ヨコハマ推進委員会 慶應義塾大学日吉音楽学研究室

【問い合わせ】慶應義塾大学日吉音楽学研究室 045-566-1359 <http://musicology.hc.keio.ac.jp>